

事務事業名 市民（旧女性）大学講座補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：625

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090601-12-00
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			女性の地位向上のため、地域婦人会において行う市民（旧女性）大学講座を支援するため、補助金を交付する。 【補助金交付の流れ】申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告 【市民（旧女性）大学講座の内容】生涯学習センター（館外を含む）、二日市コミュニティセンター、勤労青少年ホームにおいて、以下の事業等を展開。 書道教室、ハワイアンフラダンス、社交ダンス、コーラス、日舞、洋裁教室、卓球、等 また、青少年支援事業として、「平成つくし『寺小屋』」を開催し、小中学生書道教室、そろばん教室を実施。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） 実用的なものから趣味的なものまで多面にわたる講座を開催し、その資質や能力が向上することにより、女性の地位向上につなげる。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
講座数		講座	27	27	37	27			40
受講者数		人	182	130	400	300			400
5. コスト									
事業費		計	千円	270	100	270	270		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他 一般	千円	0		0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	807	803	792				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,077	903	1,062	270			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		講座の内容は、カルチャー的なものから、青少年健全育成支援、男性対象の講座も開設し、各種ニーズ、地域の活性化に取り組んでいるが、受講者数は昨年度より増加しているものの、目標値には及んでいない。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、小地区公民館やコミュニティセンター等で開催している各種講座事業があるが、本事業は、女性の地位向上を目的としている事業であるため、その必要性は高いものと考えている。 また、若い世代の育成（青少年育成支援事業）に、力を入れている。 令和2年度は、新型コロナウイルスにより活動自粛があったため、例年よりも減額された補助金申請が行われた。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
婦人会としても講座生の増加を課題としており、令和元年度は自治公民館へパンフを配布するなど、講座生募集に力を入れている。引き続き支援を行う。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
昭和47年の中央公民館の開館に伴い、学習環境が整ったことを受けて、事業を開始した。				趣味講座に留まることなく、生涯学習の理念と社会的情報の提供。女性の地位向上とジェンダーフリーの視点で、教室リーダーを中心に学習を開催している。 青少年健全育成支援事業への力を入れている。					